

2020年度 第1四半期の業績の概要

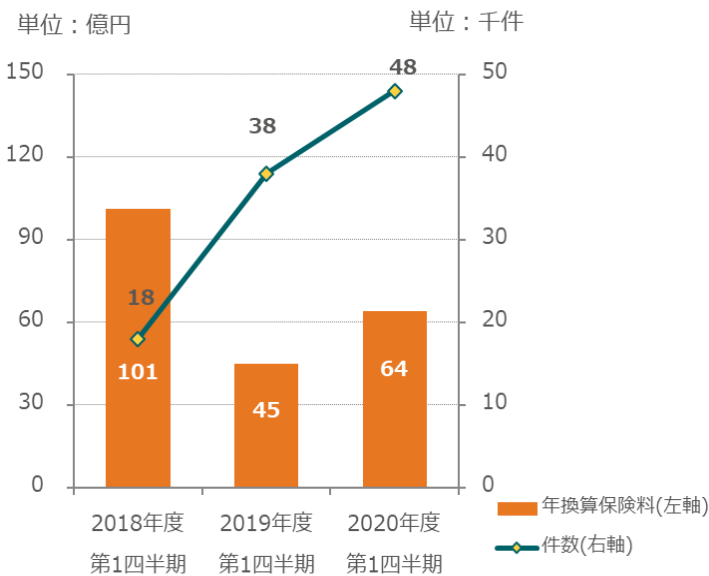
FWD富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 友野 紀夫）は、2020年度第1四半期（2020年4月1日～6月30日）の業績をお知らせいたします。

なお、金額、件数は記載単位未満の端数を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しています。

トピックス

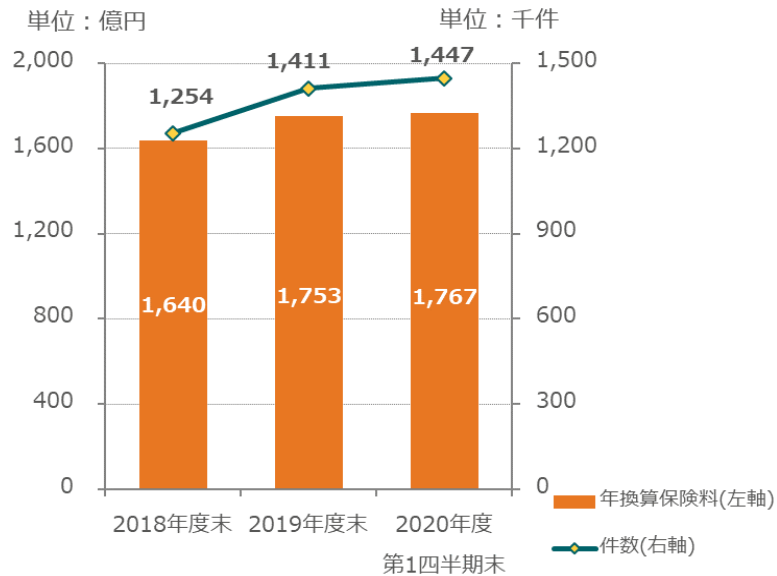
1. 新契約件数・新契約年換算保険料

新契約件数は48千件となり、新契約年換算保険料は64億円となりました。



2. 保有契約件数・保有契約年換算保険料

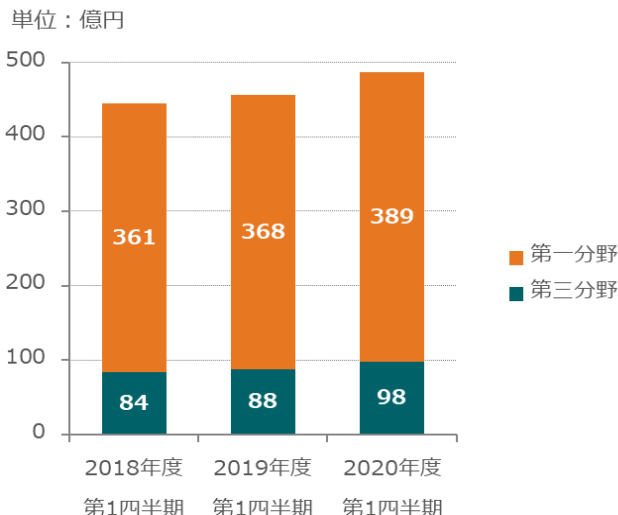
保有契約件数は1,447千件となり、保有契約年換算保険料は1,767億円となりました。



3. 保険料収入

保険料収入は前年同期から6.5%増加し487億円となりました。

内訳	第一分野	389億円
	第三分野	98億円



4. 総資産

総資産は2019年度末から3.3%増加し9,569億円となりました。

5. 純利益

純利益は19億円となりました。

6. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は2019年度末から176.7ポイント増加し、1,089.3%となりました。

2020年度第1四半期報告

FWD 富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼 CEO 友野紀夫）の2020年度第1四半期（4月1日～6月30日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	3 頁
3. 四半期貸借対照表	6 頁
4. 四半期損益計算書	7 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	9 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	10 頁
7. 特別勘定の状況	11 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	11 頁

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2019 年度末		2020 年度 第 1 四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
			前年度末比		前年度末比	
個 人 保 険	1,403	90,765	1,439	102.6	95,556	105.3
個人年金保険	7	347	7	98.5	341	98.2
団 体 保 険	—	2,637	—	—	2,436	92.4
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2019 年度 第 1 四半期累計期間				2020 年度 第 1 四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による純増加	前年同期比		前年同期比	新契約	転換による純増加		
個 人 保 険	38	6,594	6,594	—	48	127.6	6,503	98.6	6,503	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	244	244	—	—	—	33	13.8	33	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019 年度末	2020 年度	
		第 1 四半期会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	172,840	174,257	100.8
個 人 年 金 保 険	2,551	2,517	98.7
合 計	175,392	176,774	100.8
うち医療保障・生前給付保障等	56,961	57,021	100.1

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2019 年度 第 1 四半期累計期間	2020 年度	
		第 1 四半期累計期間	前年同期比
個 人 保 険	4,569	6,467	141.5
個 人 年 金 保 険	—	—	—
合 計	4,569	6,467	141.5
うち医療保障・生前給付保障等	1,170	1,447	123.7

- (注) 1. 年換算保険料とは、1 回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1 年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2019 年度末		2020 年度 第 1 四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・引当金	55,839	6.0	47,224	4.9
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	—	—	—	—
有価証券	785,255	84.8	831,220	86.9
公 社 債	265,343	28.7	245,111	25.6
株 式	53,405	5.8	53,521	5.6
外 国 証 券	466,407	50.4	532,476	55.6
公 社 債	445,463	48.1	510,732	53.4
株 式 等	20,944	2.3	21,744	2.3
その他の証券	98	0.0	110	0.0
貸付金	18,617	2.0	20,161	2.1
不動産	12,791	1.4	12,770	1.3
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	53,625	5.8	45,553	4.8
貸倒引当金	△12	△0.0	△11	△0.0
合 計	926,116	100.0	956,918	100.0
うち外貨建資産	355,103	38.3	425,345	44.4

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2019 年度末					2020 年度 第 1 四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	714,707	719,412	4,705	27,691	22,986	742,770	764,637	21,866	28,090	6,223
公 社 債	251,370	264,941	13,570	13,620	49	236,700	244,709	8,008	8,041	33
株 式	347	725	377	377	—	347	841	493	493	—
外 国 証 券	462,888	453,647	△9,240	13,694	22,935	505,623	518,976	13,353	19,543	6,190
公 社 債	454,750	445,463	△9,287	13,353	22,640	497,519	510,732	13,212	18,805	5,592
株 式 等	8,138	8,184	46	340	294	8,103	8,243	140	738	597
その他の証券	99	98	△1	—	1	99	110	11	11	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	714,707	719,412	4,705	27,691	22,986	742,770	764,637	21,866	28,090	6,223
公 社 債	251,370	264,941	13,570	13,620	49	236,700	244,709	8,008	8,041	33
株 式	347	725	377	377	—	347	841	493	493	—
外 国 証 券	462,888	453,647	△9,240	13,694	22,935	505,623	518,976	13,353	19,543	6,190
公 社 債	454,750	445,463	△9,287	13,353	22,640	497,519	510,732	13,212	18,805	5,592
株 式 等	8,138	8,184	46	340	294	8,103	8,243	140	738	597
その他の証券	99	98	△1	—	1	99	110	11	11	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 「金銭の信託」については該当ありません。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2019 年度末	2020 年度 第 1 四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	54,486	54,581
その他有価証券	9,680	10,434
非上場国内株式（店頭売買株式を除く）	80	80
非上場外国株式（店頭売買株式を除く）	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	9,600	10,353
合 計	64,166	65,015

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2019 年度末 要約貸借対照表 (2020 年 3 月 31 日現在)	2020 年度 第 1 四半期会計期間末 (2020 年 6 月 30 日現在)
	金額	金額
(資産の部)		
現金及び預貯金	55,839	47,224
有価証券	785,255	831,220
(うち国債)	(252,222)	(233,083)
(うち社債)	(13,120)	(12,028)
(うち株式)	(53,405)	(53,521)
(うち外国証券)	(466,407)	(532,476)
貸付金	18,617	20,161
保険約款貸付	18,608	20,153
一般貸付	8	8
有形固定資産	14,005	13,914
無形固定資産	8,146	8,640
代理店貸	42	41
再保険貸	18,086	17,388
その他資産	26,047	18,241
前払年金費用	87	97
貸倒引当金	△12	△11
資産の部合計	926,116	956,918
(負債の部)		
保険契約準備金	850,811	866,781
支払備金	4,362	5,413
責任準備金	846,121	861,061
契約者配当準備金	327	306
代理店借	4,038	3,257
再保険借	12,457	6,763
その他負債	17,667	17,997
未払法人税等	299	235
資産除去債務	514	514
その他の負債	16,853	17,246
役員退職慰労引当金	69	72
価格変動準備金	2,088	2,232
繰延税金負債	1,768	6,541
負債の部合計	888,901	903,645
(純資産の部)		
資本金	37,750	37,750
資本剰余金	27,750	27,750
資本準備金	27,750	27,750
利益剰余金	△27,552	△25,589
その他利益剰余金	△27,552	△25,589
繰越利益剰余金	△27,552	△25,589
株主資本合計	37,947	39,910
その他有価証券評価差額金	4,612	16,892
繰延ヘッジ損益	△5,345	△3,529
評価・換算差額等合計	△732	13,362
純資産の部合計	37,214	53,273
負債及び純資産の部合計	926,116	956,918

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2019 年度		2020 年度	
		第 1 四半期累計期間		第 1 四半期累計期間	
		〔 2019 年 4 月 1 日から 2019 年 6 月 30 日まで 〕		〔 2020 年 4 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで 〕	
		金額		金額	
経常収益			82,518		82,529
保険料等収入			64,844		72,985
(うち保険料)	(45,766)	(48,732
資産運用収益			17,025		8,730
(うち利息及び配当金等収入)	(3,526)	(3,671
(うち有価証券売却益)	(7,532)	(4,719
(うち金融派生商品収益)	(5,943)	(—
(うち為替差益)	(—)	(323
その他経常収益			648		813
経常費用			78,259		80,099
保険金等支払金			39,241		47,560
(うち保険金)	(1,789)	(2,327
(うち年金)	(707)	(882
(うち給付金)	(2,738)	(2,840
(うち解約返戻金)	(6,907)	(9,637
(うちその他返戻金)	(592)	(1,167
責任準備金等繰入額			18,423		15,991
支払準備金繰入額			416		1,050
責任準備金繰入額			18,006		14,940
契約者配当金積立利息繰入額			0		0
資産運用費用			7,958		2,747
(うち支払利息)	(1)	(1
(うち有価証券売却損)	(603)	(856
(うち金融派生商品費用)	(—)	(1,587
(うち為替差損)	(7,245)	(—
事業費			11,427		12,686
その他経常費用			1,208		1,113
経常利益			4,259		2,429
特別損失			125		143
固定資産等処分損			10		—
価格変動準備金繰入額			115		143
契約者配当準備金繰入額			45		48
税引前四半期純利益			4,087		2,237
法人税及び住民税			435		274
法人税等合計			435		274
四半期純利益			3,652		1,963

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2020年度第1四半期会計期間末

1. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、58,765 百万円であります。
2. 契約者配当準備金の異動状況は以下のとおりであります。

イ. 当期首現在高	327 百万円
ロ. 当第 1 四半期累計期間契約者配当金支払額	69 百万円
ハ. 利息による増加等	0 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	48 百万円
ホ. 当第 1 四半期会計期間末現在高	306 百万円
3. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2020年度第1四半期累計期間

1. 1 株当たり四半期純利益は 1,498 円 51 銭です。なお、潜在株式はありません。
2. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2019年度 第1四半期累計期間	2020年度 第1四半期累計期間
基礎利益	A	△1,106	152
キャピタル収益		13,475	5,042
金銭の信託運用益		—	—
売買目的有価証券運用益		—	—
有価証券売却益		7,532	4,719
金融派生商品収益		5,943	—
為替差益		—	323
その他キャピタル収益		—	—
キャピタル費用		7,849	2,443
金銭の信託運用損		—	—
売買目的有価証券運用損		—	—
有価証券売却損		603	856
有価証券評価損		—	—
金融派生商品費用		—	1,587
為替差損		7,245	—
その他キャピタル費用		—	—
キャピタル損益	B	5,626	2,599
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	4,519	2,751
臨時収益		—	—
再保険収入		—	—
危険準備金戻入額		—	—
個別貸倒引当金戻入額		—	—
その他臨時収益		—	—
臨時費用		260	321
再保険料		—	—
危険準備金繰入額		260	321
個別貸倒引当金繰入額		—	—
特定海外債権引当勘定繰入額		—	—
貸付金償却		—	—
その他臨時費用		—	—
臨時損益	C	△260	△321
経常利益	A+B+C	4,259	2,429

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2019 年度末	2020 年度 第 1 四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	92,768	114,946
資本金等	37,947	39,910
価格変動準備金	2,088	2,232
危険準備金	8,621	8,943
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合 100%)	931	17,956
土地の含み損益×85%(マイナスの場合 100%)	△785	△685
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	48,875	48,190
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△4,911	△1,601
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	20,328	21,102
保険リスク相当額 R1	1,390	1,387
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	925	938
予定利率リスク相当額 R2	493	496
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	19,042	19,795
経営管理リスク相当額 R4	655	678
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	912.6%	1,089.3%

(注) 上記は、保険業法施行規則第 86 条、第 87 条及び平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	2019 年度末	2020 年度 第 1 四半期 会計期間末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	925,330	956,233
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	827,547	837,737
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	97,783	118,495
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	—	—
実質資産負債差額 B (3) - (4)	97,783	118,495

- (注) 1. 「実質資産負債差額 A」は、実質資産負債差額の算出方法を定めた保険業法第 132 条第 2 項に規定する区分等を定める命令第 3 条および平成 11 年金融監督庁・大蔵省告示第 2 号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額 B」は、「実質資産負債差額 A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものであり、上記 1. の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6 に基づき算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当社の連結子会社であるマーキュリーNHB 特定目的会社等は東京都において賃貸等不動産を保有しております。連結子会社の当第 1 四半期連結会計期間末における賃貸等不動産の貸借対照表価額は 36,556 百万円、時価は 37,900 百万円であります。

連結子会社の当第 1 四半期連結累計期間の経常収益は 377 百万円（前年同期 255 百万円）、経常利益は 119 百万円（前年同期 77 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 118 百万円（前年同期 76 百万円）であります。

連結子会社では不動産の保有及び管理等に係る業務以外は行っていないため、この資料における連結財務諸表の開示は省略しています。